

志道館学園^(大垣市)が連覇 可児でバロー杯争奪少年剣道



熱戦を繰り広げる選手ら＝可児市大森奥洞、漱玉館

剣道の第2回バロー杯争奪少年大会が12日、可児市大森奥洞の武道場「漱玉館」で行われた。小中学生で編成した県内の10チームが団体戦で熱戦を繰り広げ、志

道館学園(大垣市)が2連覇を果たした。

バローホールディングス(HD)が主催。競技人口が減少する中、剣道の素晴らしさを子どもたちに伝え、選手の育成につなげようと昨年から始まった。大会長を務めるバローHDの田代正美会長兼CEOは開会式で「強い剣士を育てたい」との思いで始めた大会。普段の力を発揮してほし

い」と激励した。

試合は7人制の混成団体戦。先鋒と次鋒を小学1、4年生、五将、中堅、三将を小学5、6年生、副将、大将を中学生が務め、予選リーグと決勝トーナメントで競った。

準優勝はさくら会少年剣道部(加茂郡八百津町)で、3位は美濃加茂剣道スポーツ少年団(美濃加茂市)、滝呂剣林館道場(多治見市)だった。上位4チームはバローHDが初開催する東海大会(8月10日、漱玉館)に出場する。(小森孝美)